

## 札幌市児童会館

# 岩手の児童支援に来県

札幌市児童会館の職員4人が岩手の児童支援に来県しました。

同会館職員は、東日本大震災津波発災から8年間、「いわて子どもあそび隊」と共に岩手の子どもたちの支援を続けています。今回は、岩手の子どもたちへのお土産に、8種類の工作キットを約1,000個いただきました。子どもたちには、同会

館キャラクターの愛称「にじりん」とメンバーの「赤いベスト」で親しまれています。

来県初日の12月21日は、いわて子どもあそび隊のメンバーと情報交換を行いました。

昨年10月に発災した胆振東部地震の被災地支援対応について、札幌市円山児童会館の吉川陽介館長は「い



札幌市児童会館メンバーといわて子どもあそび隊メンバー



あそび隊と子どもたち



あそび隊の活動の様子

わて子どもあそび隊のノウハウは、被災地の児童支援に活かされています。季節に合わせて子どもたちとの関わり合い方は変わっていきますが、依頼があればすぐ動けるようにしたいです」と、東日本大震災津波被災児童支援については「これまでのつながりを大切にしながら、これからも継続的に岩手を支援していきたい」と話していました。

## 贈呈式

# 丸毛盛岡中央青果株式会社 寄付金贈呈式

丸毛盛岡中央青果株式会社（吉田雄一代表取締役社長）は、盛岡市中央卸売市場で開かれた年始初売りの宝船の売上金23万円を、1月24日、岩手県社会福祉協議会に寄付しました。

贈呈式はふれあいランド岩手で行われ、同社の照井勝也専務取締役から、県社協の長山洋会長に寄付金の目録が贈呈されました。照井専務取締役は「初荷の際に宝船を販売しました。その売上金を例年どおり寄付しますのでお役に立ててください」と挨拶があり、長山会長は「継続して寄付いただきありがとうございます。高齢者、障がい者、子育て家庭の方など、それぞれの地域で支援を必要としている方々のため活用させていただきます」とお礼の言葉を述べ

いわて子どもあそび隊メンバー、岩手県学童保育連絡協議会職員の南雲祥子さんは「子どもたちのニーズは毎年様変わりしていきます。ニーズに合った支援、寄り添いの支援が大切です」と応じ、支援に感謝していました。

札幌児童会館職員は2泊3日の日程で、矢巾町、岩泉町、一戸町の児童関係施設を訪問しました。



べました。

同社では、年始初売り宝船の売上金を平成18年度から寄付しています。寄付は今回で13回目となり、累計寄付額は200万円を超えています。



(左)照井勝也専務取締役 (右)長山洋会長

寄贈式

富士ゼロックス岩手株式会社

## 児童養護施設和光学園への家電寄贈式

富士ゼロックス岩手株式会社（佐々木安代表取締役社長）は12月17日、児童養護施設和光学園（鈴木美津子園長）に洗濯機1台とブルーレイディスクプレーヤー1台を寄贈しました。

和光学園で行われた寄贈式では、富士ゼロックス岩手株式会社の辻井英幸常務執行役員から「子どもたちの生活が楽しくなるよう有効活用してください」と挨拶があり、鈴木園

長に目録が贈呈されました。鈴木園長は「普段使うもので本当に助かります」と感謝しました。

同社では、社員一人ひとりが毎月の給与から100円未満の端数を募金し、社会貢献活動の財源として積み立てる「富士ゼロックス岩手端数倶楽部」活動を行っており、平成26年度から毎年度12月のクリスマスの時期にあわせて、児童養護施設への家電寄贈を続けています。



（左）鈴木美津子園長（右）辻井英幸常務執行役員



寄贈式

富士ゼロックス岩手株式会社

## 福祉施設への車いす寄贈式

富士ゼロックス岩手株式会社（佐々木安代表取締役社長）から、県内10か所の福祉施設への車いす寄贈式が2月7日、ふれあいランド岩手で行われました。

寄贈式では、同社の辻井英幸常務執行役員から「この取組は社会貢献活動として実施しています。今後も継続してこのような活動をして参りますのでよろしく願います」と挨拶があり、岩手県社会福祉協議会

の新屋浩二専務理事に目録が贈呈されました。

新屋専務理事は「長年の支援に改めて感謝いたします。今回頂戴した車いすは、県内の障がい者福祉施設及び高齢者施設において活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

同社では、平成20年度から岩手県社会福祉協議会を通じて県内福祉施設等への車いす寄贈を実施しており、寄贈台数は今回の10台を加え延べ175台になりました。



出席者の皆さん



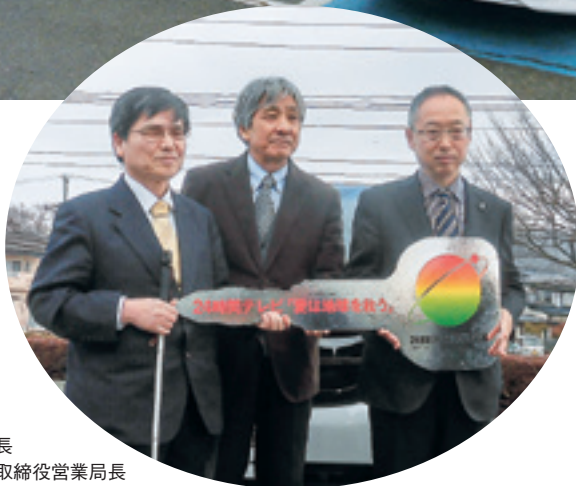
（左）新屋浩二専務理事（右）辻井英幸常務執行役員







贈呈された車両



(左) 及川清隆理事長  
(右) 青山尚之専務取締役営業局長



車両のリフトの使用方法を説明



車両のリフト操作

贈呈式

## 24時間テレビ41「愛は地球を救う」 福祉車両贈呈式

株式会社テレビ岩手（榎野信治代表取締役社長）を含む日本テレビ系列31社から昨年8月に取り組んだチャリティキャンペーン「24時間テレビ41『愛は地球を救う』」に寄せられた募金の中から、岩手県内の社会福祉法人等5団体にリフト付き

バス、スロープ付き自動車などの福祉車両が贈呈されました。  
2月22日、ふれあいランド岩手で行われた贈呈式では、テレビ岩手の青山尚之専務取締役営業局長から「募金してくれた皆さんのやさしい気持ちが集まった車両をどうか



有効に使ってください」と挨拶があり、出席した5団体に目録が贈呈されました。5団体を代表して、社会福祉法人岩手県視覚障害者福祉協会の及川清隆理事長は「いただいた車両を活用して、生きる力が湧いてくるような活動をしていきたいと思います」と感謝しました。  
24時間テレビの募金は、このほかにも西日本豪雨災害や北海道胆振東部地震、東日本大震災の復興支援にも役立てられています。

## 皆様のご支援ありがとうございました

東日本大震災被災者支援、地域福祉推進のため  
ご寄付いただき、感謝申し上げます。

[1月7日～3月4日]

株式会社ブリッジ	(3件)	75,000円
丸モ盛岡中央青果株式会社	(1件)	230,000円
公益社団法人松風花道会岩手支部	(1件)	12,498円
名郷根 法育	(1件)	1,000円
名郷根 博明	(1件)	1,000円
名郷根 和博	(1件)	1,000円

ご寄付いただいた日付順に掲載しています



目録の贈呈